

|  |                       |   |
|--|-----------------------|---|
|  | ■ 所属                  | ■ 職名  |
|  | 総合理工学科 建築学系           | 准教授   |
|  | ■ 氏名                  |   |
|  | 齊藤 哲也 (Tetsuya Saito) |   |
| ■ 研究分野   |                       | ■ 研究分野キーワード                                   |
| 建築意匠・歴史<br>都市再生  |                       | 歴史的建造物の再生活用<br>まちのデザイン<br>建築計画・都市再生<br>イタリア建築 |

「歴史的建造物の再生活用」および「まちのデザイン」に関する研究および基本設計を行っている。主な研究テーマとしては、(1) 歴史的建造物の現存、分布状況に関する調査研究、(2) 歴史的建造物を活かしたまちのデザインに関するコンサルタントおよび設計、(3) イタリアの近現代建築および都市空間と日本への影響に関する研究などがある。具体例として(1)に関連して、青梅駅周辺の歴史的建造物調査、従来の再開発とは異なる建築とそれを支えるソフト(地域コミュニティー)のデザイン、(2)に関連して、水村園の蔵群の改修計画(有形登録文化財・高崎市)、織物工業協同組合工場(築100年)の測量と活用計画などを行っている。

#### ■ 文献

- 「青梅駅周辺における歴史的建築物の現存状況に関する調査」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、東京、P. 321
- 「戦前から残る銀行建築の実態に関する研究」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、富山、P. 437-P. 438
- 「横浜市日本大通りの成立過程と歴史的建造物に関する研究」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、富山、P. 627-P. 628
- 「ミラノ歴史的な中心部における街路構成に関する研究」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、仙台、P. 631-P. 632
- 「ミラノにおける街区形態の変化要因に関する研究」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、仙台、P. 749-P. 750
- 「サステイナブル建築モデルとデザイン手法のあり方」、パネルディスカッション、地球環境部門、  
日本建築学会全国大会、広島
- 「ミラノの歴史的な都心部における街区内外部空間の構成 その1 その2」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、近畿、P. 415-P. 418
- 「ローマの観光広場における夜間照明による空間特性 その1 その2」  
日本建築学会大会学術講演梗概集、東京、P. 673-P. 676
- 「増改築により形成される新旧の部位が共存する空間の性格」  
共同(発表代表者: 片平太陽)、  
日本建築学会大会学術講演梗概集、金沢、P. 515-P. 516
- 「輪郭と素材からみた増改築により形成されるファサードの構成」  
共同(発表代表者: 井上弘子)、  
日本建築学会大会学術講演梗概集、金沢、P. 511-P. 512

■ 解説・総説

■ 著書

□ 齋藤哲也「アルヴァ・アアルト アアルト邸とアトリエ ― ヘルシンキ 1936, 1955」, バナナブックス (2012/7/5)

□ 藤岡道夫・齋藤哲也・他共著. 「建築史 増補改訂版」, 市ヶ谷出版社, 2010, 344p

□ 齋藤哲也. 過去を活かす保存再生 ―第3の道を探る―, ディテール(155), 彰国社, 2003, 120p

■ 招待講演

「イタリアの近・現代建築と日本への影響」2012年 埼玉県立近代美術館  
「青梅市のにぎわい活性化について(市民公開講演)」2011年 青梅市  
「世界遺産で注目される20世紀建築」 2009年 世界遺産アカデミー

「」